

## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

会社名 株式会社 沖縄海邦銀行 上場取引所 —  
 コード番号 — URL <https://www.kaiho-bank.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 上地 英由  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 新城 一史 TEL (098)867-2112  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,063	△1.3	1,170	△43.5	814	△45.5
2019年3月期第3四半期	10,204	1.3	2,073	0.6	1,495	△0.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 681百万円(△11.6%) 2019年3月期第3四半期 771百万円(△55.1%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第3四半期	240	01	—	—
2019年3月期第3四半期	440	75	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年3月期第3四半期	744,276		45,064		6.0	
2019年3月期	723,756		44,621		6.1	

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 45,034百万円 2019年3月期 44,589百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	45.00	70.00
2020年3月期	—	25.00	—		
2020年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	680	△80.1	460	△80.1	135	56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期第3Q	3,400,000 株	2019年3月期	3,400,000 株
2020年3月期第3Q	7,055 株	2019年3月期	6,881 株
2020年3月期第3Q	3,393,007 株	2019年3月期第3Q	3,393,203 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2020年12月31日)の経営成績について、経常収益は、貸出金利息や株式等売却益は増加しましたが、貸倒引当金戻入益や有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比1億41百万円減少の100億63百万円となりました。経常費用は、営業経費が増加したことなどにより、前年同期比7億62百万円増加の88億93百万円となりました。

結果、経常利益は、前年同期比9億3百万円減少の11億70百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比6億81百万円減少の8億14百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(2019年12月31日)の連結財政状態について、総資産は、前連結会計年度末比205億20百万円増加の7,442億76百万円、純資産は、前連結会計年度末比4億43百万円増加の450億64百万円となりました。

主要勘定として、貸出金は、消費者ローンは減少しましたが、事業性貸出が増加したことなどから、前連結会計年度末比85億35百万円増加の5,174億29百万円となりました。

預金は、個人預金および法人預金、公金預金が増加したことから、前連結会計年度末比204億80百万円増加の6,919億72百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比153億39百万円増加の1,410億84百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想は、2019年5月14日に公表した数値から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	63,980	60,604
コールローン及び買入手形	—	602
有価証券	125,745	141,084
貸出金	508,894	517,429
外国為替	794	158
その他資産	12,405	12,442
有形固定資産	9,311	8,905
無形固定資産	1,768	1,618
退職給付に係る資産	556	566
繰延税金資産	1	3
支払承諾見返	2,506	2,678
貸倒引当金	△2,207	△1,818
資産の部合計	723,756	744,276
<b>負債の部</b>		
預金	671,492	691,972
外国為替	—	15
その他負債	2,782	2,314
賞与引当金	486	197
退職給付に係る負債	665	675
役員退職慰労引当金	166	170
睡眠預金払戻損失引当金	56	49
利息返還損失引当金	12	12
偶発損失引当金	75	95
繰延税金負債	891	1,028
支払承諾	2,506	2,678
負債の部合計	679,135	699,212
<b>純資産の部</b>		
資本金	4,537	4,537
資本剰余金	3,219	3,219
利益剰余金	32,276	32,853
自己株式	△24	△25
株主資本合計	40,008	40,584
その他有価証券評価差額金	4,417	4,335
退職給付に係る調整累計額	163	114
その他の包括利益累計額合計	4,581	4,449
非支配株主持分	31	30
純資産の部合計	44,621	45,064
負債及び純資産の部合計	723,756	744,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
経常収益	10,204	10,063
資金運用収益	8,129	8,067
(うち貸出金利息)	7,297	7,324
(うち有価証券利息配当金)	806	720
役務取引等収益	962	947
その他業務収益	140	86
その他経常収益	971	961
経常費用	8,131	8,893
資金調達費用	170	137
(うち預金利息)	181	154
役務取引等費用	957	933
その他業務費用	39	0
営業経費	6,636	7,520
その他経常費用	325	300
経常利益	2,073	1,170
特別利益	17	—
固定資産処分益	17	—
特別損失	0	82
固定資産処分損	0	36
減損損失	—	46
税金等調整前四半期純利益	2,091	1,087
法人税、住民税及び事業税	351	87
法人税等調整額	244	186
法人税等合計	596	274
四半期純利益	1,494	813
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,495	814

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,494	813
その他の包括利益	△723	△131
その他有価証券評価差額金	△654	△82
退職給付に係る調整額	△68	△49
四半期包括利益	771	681
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	772	682
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 損益の概況

##### ○経常収益

貸出金利息や株式等売却益は増加したものの、貸倒引当金戻入益や有価証券利息配当金の減少などにより、前年同期比1億29百万円減少の100億36百万円となりました。

##### ○コア業務純益

新勘定系システムの稼働による経費増加などによって、前年同期比9億3百万円減少の3億82百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2018/12期	2019/12期	2018/12期比	20/3期予想 (12ヵ月間)
	(9ヶ月間)	(9ヶ月間)		
<b>1 経常収益</b>	<b>10,165</b>	<b>10,036</b>	<b>△129</b>	
<b>2 業務粗利益</b>	<b>8,021</b>	<b>8,000</b>	<b>△21</b>	
3 資金利益	7,958	7,930	△28	
4 役務取引等利益	△37	△16	21	
5 その他業務利益	100	85	△15	
6 経費(除く臨時処理分)	6,694	7,549	855	
7 人件費	3,706	3,709	3	
8 物件費	2,577	3,291	714	
9 税金	411	548	137	
<b>10 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)</b>	<b>1,326</b>	<b>450</b>	<b>△876</b>	<b>410</b>
11 コア業務純益(注1)	1,285	382	△903	340
12 除く投資信託解約損益	1,285	382	△903	
13 一般貸倒引当金繰入額 ①	—	—	—	
<b>14 業務純益</b>	<b>1,326</b>	<b>450</b>	<b>△876</b>	<b>370</b>
15 うち国債等債券損益(5勘定戻)	40	68	28	
16 臨時損益	753	729	△24	
17 株式等損益(3勘定戻)	247	539	292	
18 不良債権処理額 ②	243	166	△77	
19 貸出金償却	155	50	△105	
20 個別貸倒引当金繰入額	—	—	—	
21 偶発損失引当金繰入額	15	19	4	
22 その他の債権売却損等	73	96	23	
23 貸倒引当金戻入益(注2) ③	399	222	△177	
24 償却債権取立益 ④	76	43	△33	
25 偶発損失引当金戻入益 ⑤	—	—	—	
26 その他臨時損益	273	91	△182	
<b>27 経常利益</b>	<b>2,080</b>	<b>1,180</b>	<b>△900</b>	<b>680</b>
28 特別損益	17	△82	△99	
29 固定資産処分損益	17	△36	△53	
30 減損損失	—	46	46	
31 税引前四半期純利益	2,097	1,097	△1,000	
32 法人税・住民税及び事業税	351	87	△264	
33 法人税等調整額	246	189	△57	
34 法人税等合計	597	276	△321	
<b>35 四半期(当期)純利益</b>	<b>1,499</b>	<b>820</b>	<b>△679</b>	<b>460</b>
(ご参考)				
<b>36 与信関係費用(①+②-③-④-⑤)</b>	<b>△232</b>	<b>△98</b>	<b>134</b>	<b>200</b>

(注) 1. 「コア業務純益」は、一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益(5勘定戻)を除く業務純益。

2. 貸倒引当金戻入益の内訳：一般貸倒引当金戻入益 173百万円、個別貸倒引当金戻入益 48百万円



### 3. 補足情報

#### (2) 資産・負債の状況

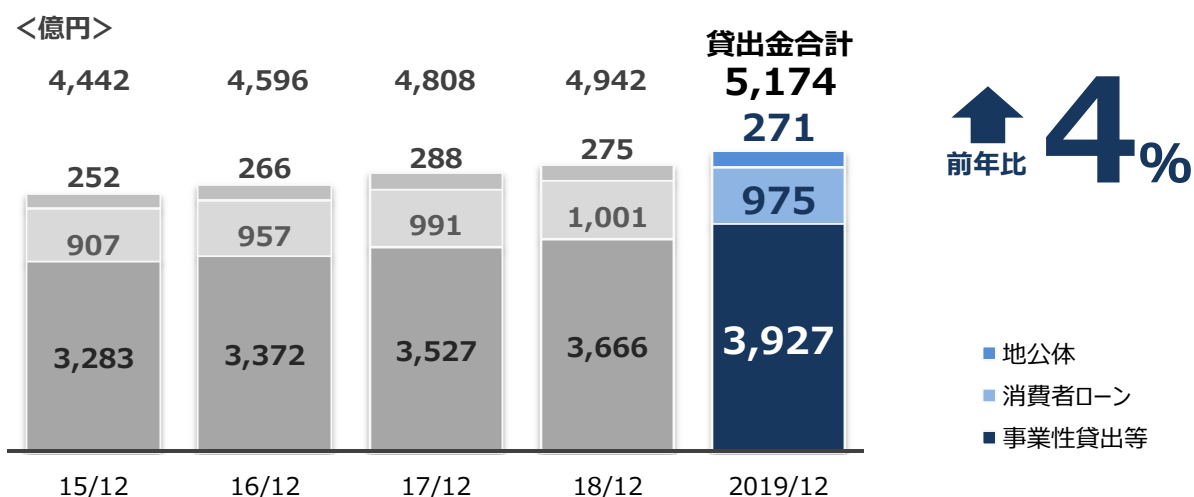
##### ① 貸出金

貸出金残高は、消費者ローンは減少したものの、不動産などの事業性貸出が増加したことから、前年同期比231億50百万円増加の5,174億29百万円となりました。平均残高は173億92百万円増加の4,993億85百万円となりました。

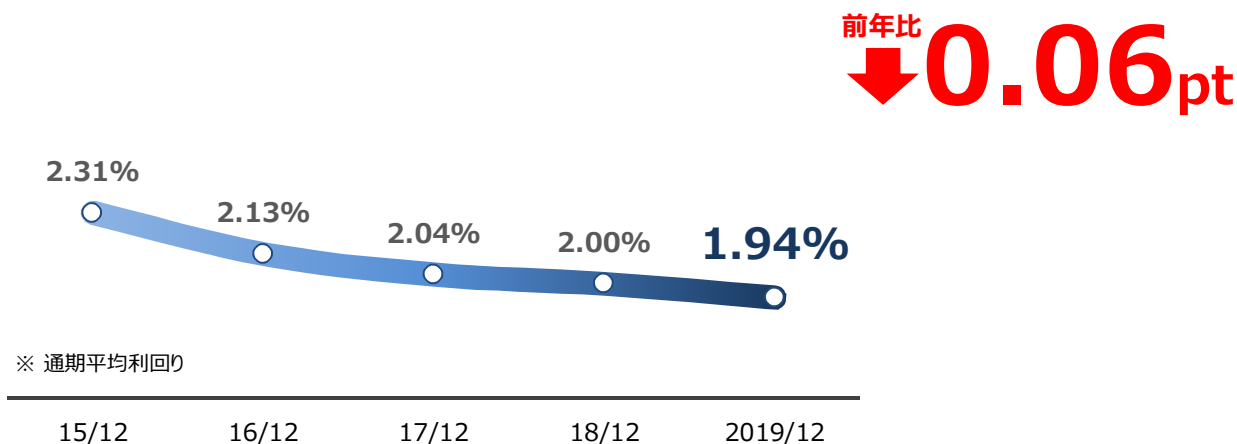
(単位：百万円)

単体	2018/12期末	2019/3期末	2019/12期末	2019/12期末	
				18/12期末比	19/3期末比
貸出金（期末残高）	494,279	508,894	<b>517,429</b>	23,150	8,535
事業性貸出等	366,646	376,363	<b>392,746</b>	26,100	16,383
消費者ローン	100,119	99,454	<b>97,513</b>	△2,606	△1,941
住宅ローン	73,614	72,840	<b>72,553</b>	△1,061	△287
地方公共団体	27,514	33,076	<b>27,168</b>	△346	△5,908
貸出金（平均残高）	481,993	485,110	<b>499,385</b>	17,392	14,275

##### 単体 貸出金（期末残高）の推移



##### 単体 貸出金利回りの推移



### 3. 補足情報

#### (2) 資産・負債の状況

##### ②預金

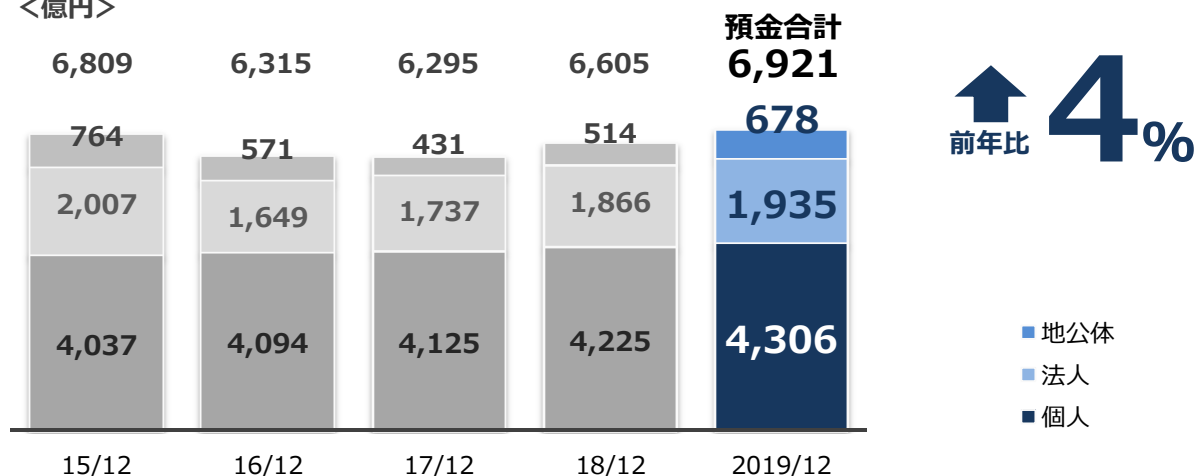
預金残高は、個人預金および法人預金、公金預金が増加したことから、前年同期比316億15百万円増加の6,921億31百万円となりました。平均残高は390億82百万円増加の6,847億5百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2018/12期末	2019/3期末	2019/12期末	2019/12期末	
				18/12期末比	19/3期末比
預金（期末残高）	660,516	671,618	<b>692,131</b>	31,615	20,513
個人	422,508	421,051	<b>430,684</b>	8,176	9,633
法人	186,604	188,811	<b>193,562</b>	6,958	4,751
地方公共団体その他	51,402	61,756	<b>67,884</b>	16,482	6,128
預金（平均残高）	645,623	647,254	<b>684,705</b>	39,082	37,451

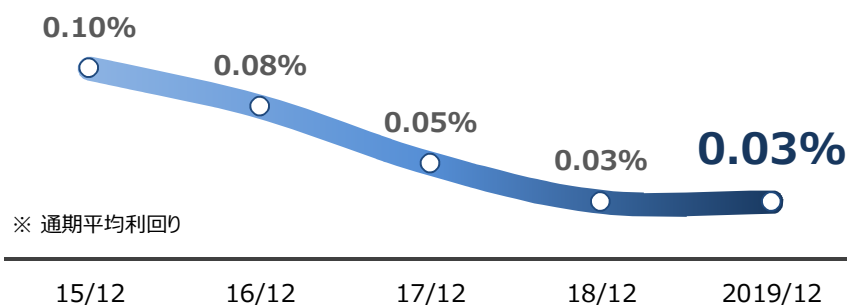
#### 単体 預金（期末残高）の推移

<億円>



#### 単体 預金利回りの推移

前年比 **↓ 0.00pt**



### 3. 補足情報

#### (2) 資産・負債の状況

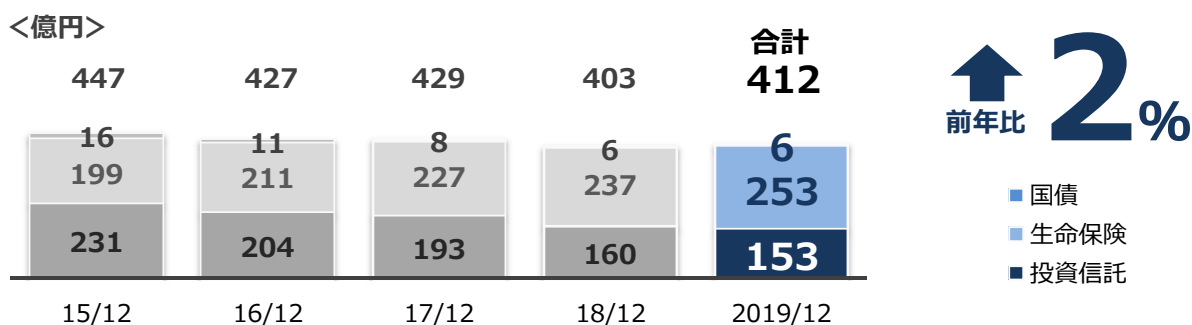
##### ③ 預かり資産

預かり資産残高は、投資信託は減少しましたが、生命保険が増加したことなどから、前年同期比8億96百万円増加の412億72百万円となりました。

(単位：百万円)

単体	2018/12期末	2019/3期末	2019/12期末	2019/12期末	
				18/12期末比	19/3期末比
預かり資産	40,376	41,456	41,272	896	Δ184
投資信託	16,062	16,429	15,327	Δ735	Δ1,102
生命保険	23,710	24,407	25,330	1,620	923
国債	603	619	614	11	Δ5

##### 単体 預かり資産（期末残高）の推移



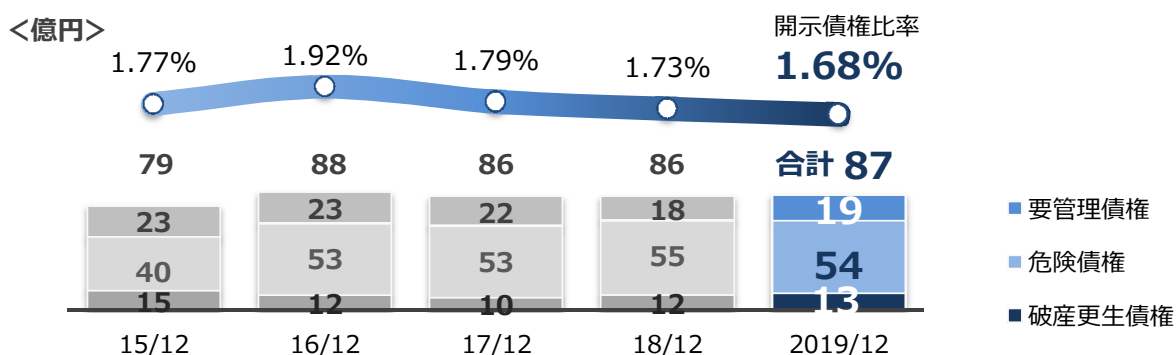
#### (3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

金融再生法開示債権は、前年同期比1億49百万円増加の87億57百万円となりました。開示債権比率は前年同期比0.05ポイント低下の1.68%となりました。

(単位：百万円)

単体	2018/12期末	2019/3期末	2019/12期末	2019/12期末	
				18/12期末比	19/3期末比
金融再生法開示債権	8,608	8,479	8,757	149	278
破産更生債権	1,293	1,122	1,338	45	216
危険債権	5,507	5,467	5,489	Δ18	22
要管理債権	1,807	1,889	1,929	122	40
正常債権	488,613	503,411	511,805	23,192	8,394
総与信額	497,221	511,890	520,562	23,341	8,672
開示債権比率	1.73%	1.65%	1.68%	Δ0.05%	0.03%

##### 単体 金融再生開示債権の推移



### 3. 補足情報

#### (3) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示

(単位：百万円)

連結	2018/12期末	2019/3期末	2019/12期末	18/12期末比	
				18/12期末比	19/3期末比
金融再生法開示債権	8,608	8,479	8,757	149	278
破産更生債権	1,293	1,122	1,338	45	216
危険債権	5,507	5,467	5,489	△18	22
要管理債権	1,807	1,889	1,929	122	40
開示債権比率	1.73%	1.65%	1.68%	△0.05%	0.03%

(注) 上記の計数は、当行の定める自己査定基準に基づき、債務者区分の判定を行った結果を「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリにより分類しております。

#### (4) 自己資本比率（国内基準）

単体	連結	2018/9期末	2019/3期末	2019/9期末	2020/3期末 (予想)
① 自己資本比率【単体】		8.40%	8.26%	8.16%	8%程度
② 自己資本比率【連結】		8.40%	8.26%	8.16%	8%程度

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

#### (5) 時価のある有価証券の評価差額

(単位：百万円)

単体	2018/12期末		2019/3期末		2019/12期末	
	時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
	129,948	5,871	124,363	6,257	139,642	6,144
株式	4,764	1,389	4,646	1,362	4,018	1,406
債券	115,465	1,892	110,072	2,134	127,794	1,652
その他	9,717	2,590	9,644	2,760	7,830	3,085

(注) 1. 「評価差額」は、各四半期末の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。  
2. 満期保有目的の債券は保有しておりません。